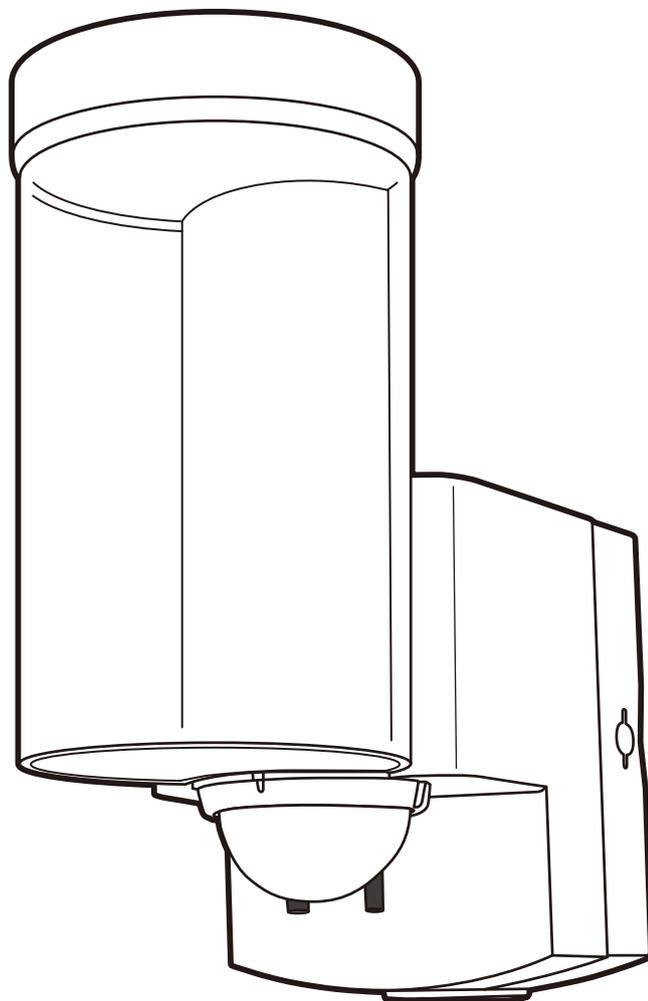
取扱説明書
保証書付

乾電池式
LEDセンサーライト

品　番
ESL-EX301BT

お客様へのお願い

■この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。
■保証書欄は「お買い上げ日、販売店名」等の記入を必ずお確かめください。

本品は強盗、盗難、空巣などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。
万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

1 安全上のご注意

⚠ 警告

●取り付けはこの取扱説明書に従って確実に行ってください。
●点灯中や消灯直後は器具に触らないでください。ランプやその周辺が過熱しており、やけどの原因となります。
●燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。昼でも本体に布団や洗濯物等がかぶさると点灯し引火する恐れがありますのでご注意ください。
●布や紙など燃えやすいものをかぶせないでください。火災の原因となります。
●本機は防雨構造ですので通常の雨や風には耐えますが、**大量の水(ゲリラ豪雨や台風の雨など)がかかる場所や湿気の多い浴室などでは使用できません。**
※防雨構造はIPX4電気機械器具の保護等級に適合します。
●正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたすうえ、浸水による故障や漏電の原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
●感電の恐れがありますので、乾電池を交換される際は濡れた手で本体に触れないでください。また本体が雨などで濡れている場合も触れないでください。
●視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。
●改造、分解しないでください。また指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。

⚠ 注意

●電池が液漏れ、破裂、発熱等する原因となりますので、下記の事にご注意ください。
・電池の ⊕⊖ 方向を正しく入れてください。
・新旧及び種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
・長期間ご使用にならない場合は電池を取りはずしてください。
・乾電池は充電しないでください。
●電池のアルカリ液が目に入ったり皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガの恐れがありますのですぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
●温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取り付けないでください。
●本機をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。
●不安定な場所に取り付けないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取り付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。

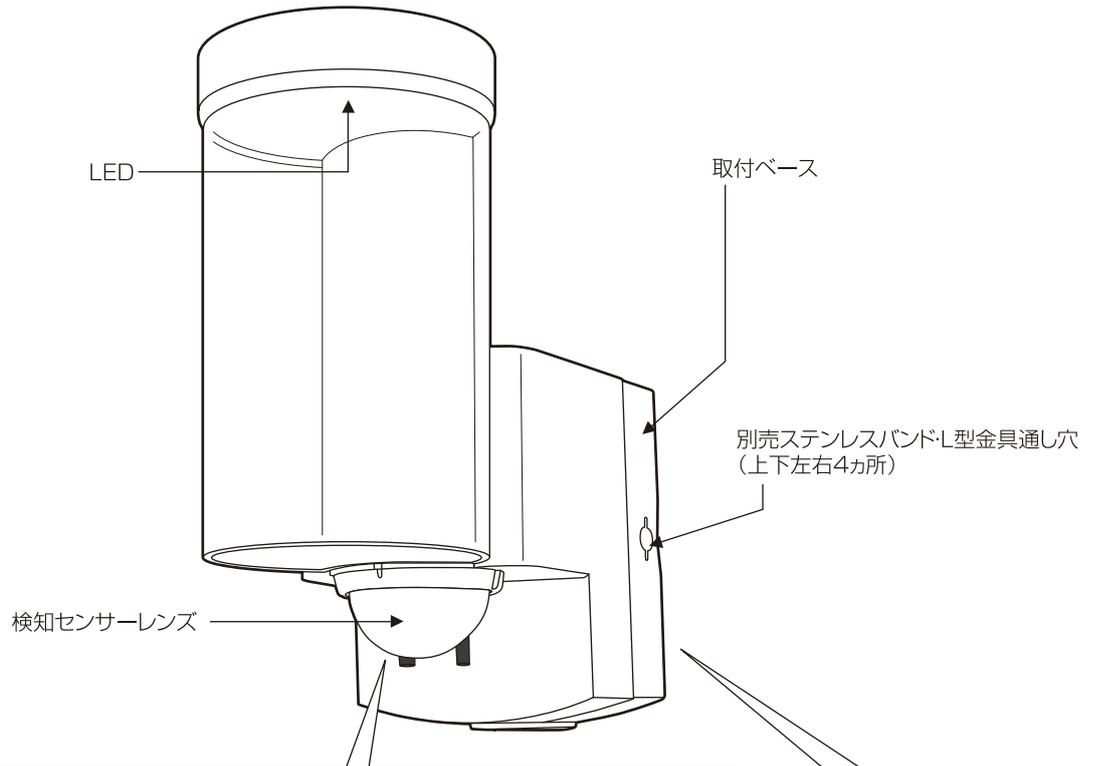
2 各部の名称と付属品

本体

LED

取付ベース

別売ステンレスバンド·L型金具通し穴
（上下左右4ヵ所）

検知センサーレンズ

※本体を下から見た図

点灯モード調整ツマミ
消灯、点灯を調整できます。

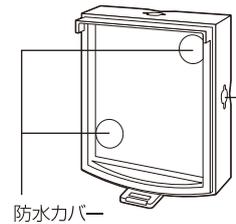
消灯　点灯

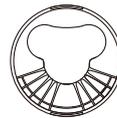
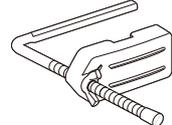
点灯開始照度調整ツマミ
周囲が明るいときにも検知（昼）〜周囲が暗いときだけ検知（夜）させるようにセンサーを調整できます。

夜　昼

取付ベース

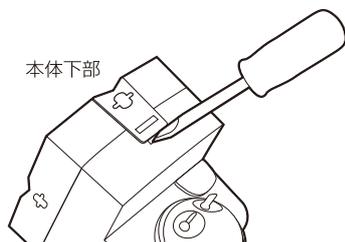
L型金具通し穴
（上下左右4ヶ所）

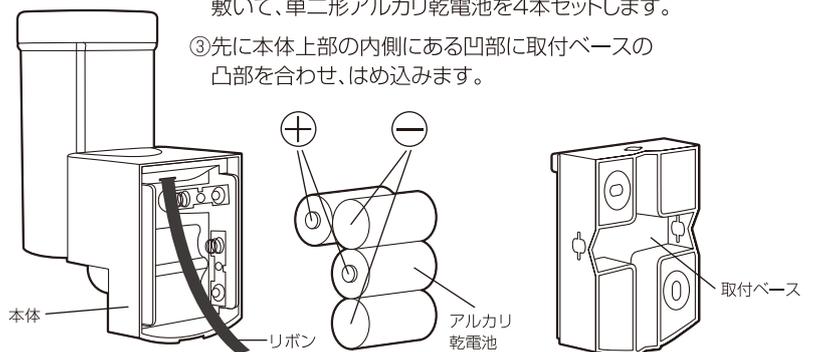
防水カバー

付属品

- ●取付ネジ（2本）
（φ4×38mm）
- ●コンクリート用
スリーブ（2本）
- ●マスキングカバー（1個）
- ●クランプ（1セット）

3 電源の準備

使用電池:単二形アルカリ乾電池×4本

※電池交換の際も同様の手順でおこないます

①本体から取付ベースを外します。
※下図のようにマイナスドライバーを差し込んで外してください。
手やドライバー以外の工具を使用するとケガや故障の原因となりますのでご注意ください。

②電池ケース内の⊕ ⊖表示を確認し、リボンを電池の下に敷いて、単二形アルカリ乾電池を4本セットします。

③先に本体上部の内側にある凹部に取付ベースの凸部を合わせ、はめ込みます。

※乾電池をセットすると、約30秒間ライトが点灯します（ウォームアップ時間）。
これはセンサーライトの初期安定動作であり故障ではありません。

※マンガン乾電池、単二形充電池を使用すると正しく動作しない場合があります。

4 設置方法

⚠ 本体の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

取り付け上のご注意

※センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。
下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。

◆風などで揺れ動く、植物や洗濯物等の近く

◆エアコン室外機等の送風を受ける所

◆大理石やガラスなど光の反射を強く受ける所

◆ガラスや壁越しの所

◆街路灯など明かりが近くにある所

◆強い振動を受ける所

◆電波の強い所

◆極端に高い所や低い所

◆車の通る道路に面した所

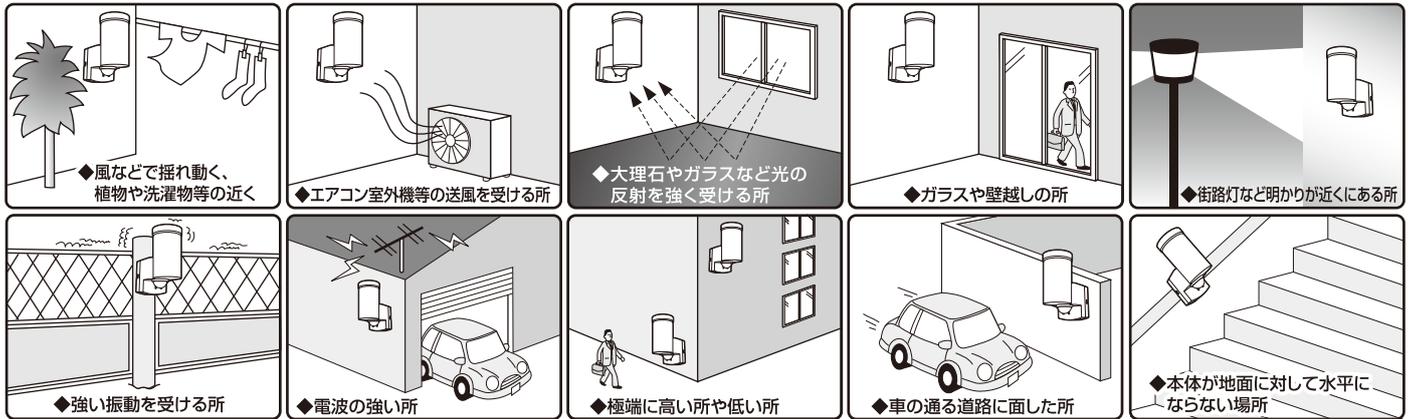
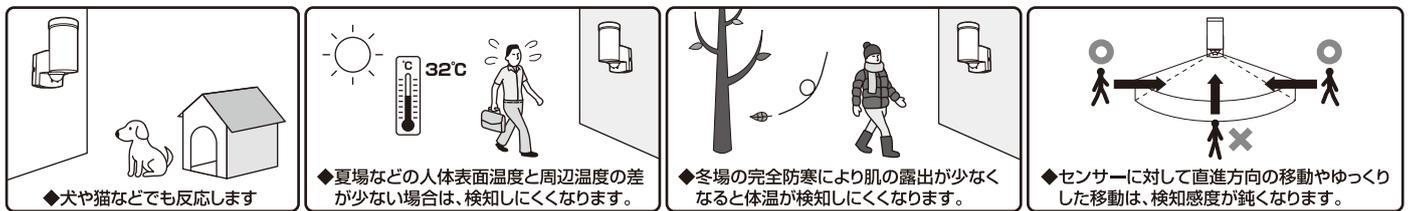
◆本体が地面に対して水平にならない場所

センサーの特性上、以下の点にご注意ください。

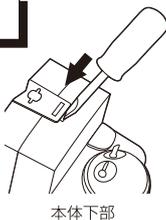
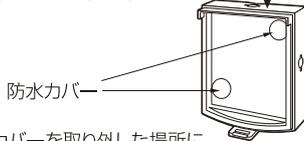
◆犬や猫などでも反応します

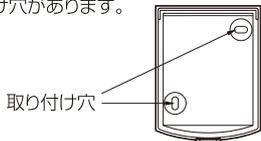
◆夏場などの人体表面温度と周辺温度の差が少ない場合は、検知しにくくなります。

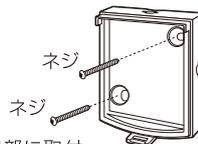
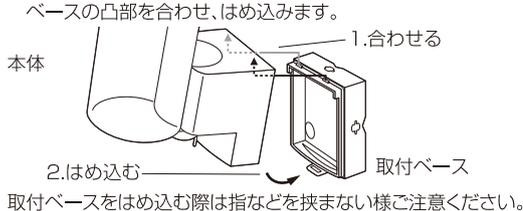
◆冬場の完全防寒により肌の露出が少なくなると体温が検知しにくくなります。

◆センサーに対して直進方向の移動やゆっくりした移動は、検知感度が鈍くなります。

本体の取付方法 ⚠ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。

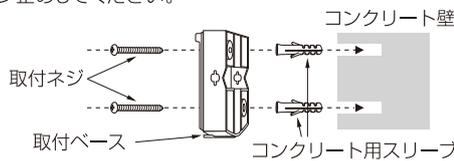
ネジでの取り付け

①本体から取付ベースを外します。
※右図のようにマイナスドライバーを差し込んで外してください。
手やドライバー以外の工具を使用するとケガや故障の原因となりますのでご注意ください。

②防水カバーを取り外します。

防水カバーを取り外した場所に取り付け穴があります。

※取り付け穴は薄い樹脂でふさがれています。ドライバー等で強く押すと穴が開きます。

③取付ベースを付属のネジで壁に固定し、防水カバーを再び取り付けます。

④先に本体上部の内側にある凹部に取付ベースの凸部を合わせ、はめ込みます。

取付ベースをはめ込む際は指などを挟まない様ご注意ください。

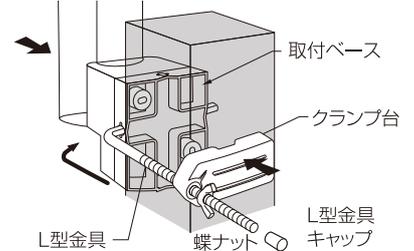
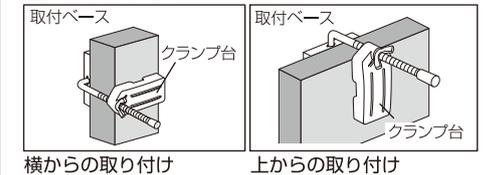
コンクリート壁への取り付け

あらかじめドリルで直径6mm、深さ30mmの穴を開け、そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、ネジ止めしてください。

クランプでの取り付け

最小約10mmから最大約100mm幅まで取り付け可能

①取付ベースのL型金具通し穴にL型金具を差込みます。
②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
③L型金具の余った部分に付属のL型金具キャップをかぶせてください。

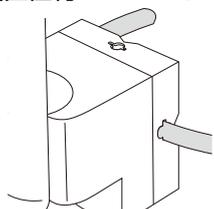
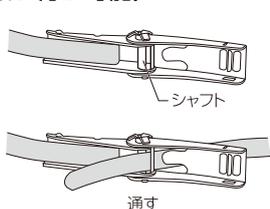
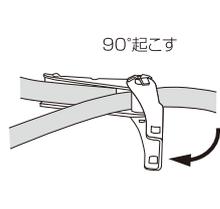
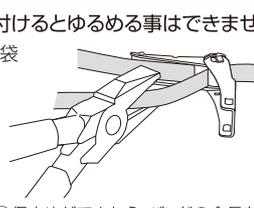
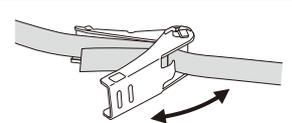
■クランプによる取り付け例

横からの取り付け

上からの取り付け

別売ステンレスバンドによる取り付け
(弊社型番ESL-SB)

(直径約260mmまで取り付け可能)

⚠ステンレスバンドの構造上、一度締め付けるとゆるめる事はできません。
※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。

①取付ベースのステンレスバンド通し穴(上下または左右の2箇所)にステンレスバンドを通します。

②バンドを取付箇所(ポールなど)に巻付け、先端をシャフトの間(シャフトは2枚構成)に通して、バンドにたるみのない程度に張ります。

③バンドを適当に張り、ハンドルを90度起こして仮止めします。

④仮止めができたら、バンドの余長をシャフトから3cm程度のところで切断します。ベルト端末は外に出ません。

※図のようにペンチでバンドを2つ折りにし左右に振ると、切断しやすくなります。

⑤ハンドルを反復回転させる。(ラチェット機構なのでバンドを巻取る)
※締めすぎると⑥の工程でハンドルが倒せなくなりますので、ご注意ください。

⑥ハンドルをベースに重なるまで倒して、ストッパーにかしめ込んで完了です。

5 各種調整

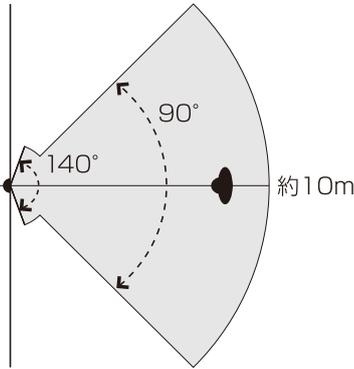
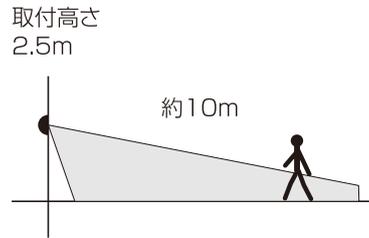
検知エリアについて

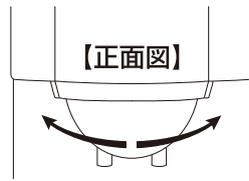
検知エリアは目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、器具の設置状態などにより大きく変化します。

気温：20℃
湿度：50%

【平面図】 検知エリアを上から見た図

【側面図】 検知エリアを横から見た図

取付高さ
2.5m

※センサーは検知エリア内の温度変化を検知するため、人以外の熱源(動物･車など)も検知します。
※検知エリアの外側でも人より大きな熱源(車など)が移動した場合は検知する事があります。
※センサーに向かって正面方向から接近した場合は、検知距離が極端に短くなります。
※検知エリアにゆっくり侵入した場合、検知しなかったり、検知距離が短くなります。
※夏場など人体表面温度と周辺温度の差が少ない場合は、検知しにくくなります。
※冬場にマフラー、ニット帽などで完全防寒すると肌の露出が少なく、衣服の表面と外気温の温度差が少なくなり検知しにくくなります。

センサーレンズの検知方向の調節

左右各90°
※故障の原因となりますので
90°以上回さないでください。

マスキングカバーの使用方法(検知エリアの調節)

※マスキングカバーは必ず検知範囲を切り取ってご使用ください。
切り取らずに取り付けると、センサーが検知しなくなります。

センサーの検知エリアを狭くしたい場合は、付属のマスキングカバーで調節してください。
マスキングカバーを取り付けると、カバーで覆われた部分はセンサーが検知しなくなります。

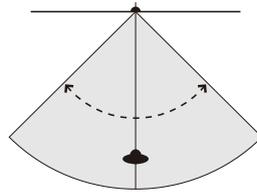
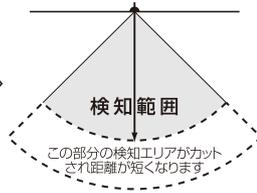
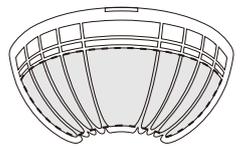
<例1>検知距離を短くする

カバーを取り付けない状態

【検知エリア平面図】

検知エリアが短くなる

検知範囲

この部分の検知エリアがカット
され距離が短くなります

【検知エリア平面図】

切り取る部分

ニッパーなどを使って
マスキングカバーの
下面を切り取ります。

<例2>検知角度を狭くする

カバーを取り付けない状態

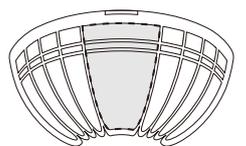
【検知エリア平面図】

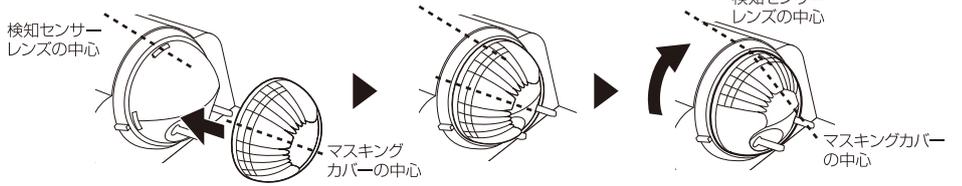
検知エリアが狭くなる

この部分の検知
エリアがカットされ
角度が狭くなります

【検知エリア平面図】

この部分の検知
エリアがカットされ
角度が狭くなります

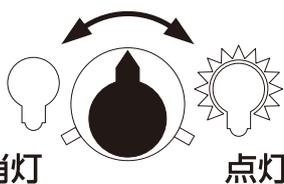
切り取る部分

ニッパーなどを使って
マスキングカバーの中央
部分を切り取ります。

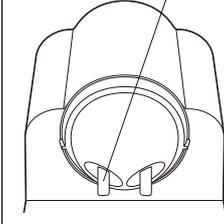
■装着方法

①レンズとマスキングカバーのそれぞれのツメが干渉しないように、マスキングカバーを少しずらして装着します。

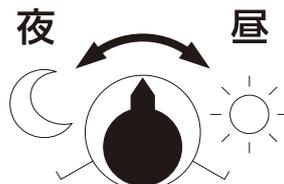
②マスキングカバーを回転させ、中央にスライドさせます。

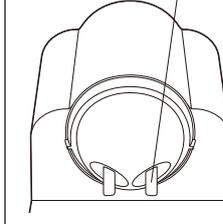
※外す場合は、逆の手順で取り外してください。

点灯モードの設定

ライトの消灯/点灯を設定できます。

[点灯]センサーが検知すると約10秒間ライトが点灯します。
[消灯]本体の電源が「切」になります。

点灯時間は10秒固定です。
※センサーの検知エリア内で人や動物が動き続けると、センサーが再検知し点灯時間は延長されます。
※出荷時は「消灯」に設定されています。

点灯開始照度の設定

センサーが検知を開始する明るさを設定できます。

[夜]周囲が暗くなってから点灯します。
昼間などの明るい時間は点灯しません。
[昼]周囲の明るさに関係なくセンサーが検知すると点灯します。

※点灯開始照度変更後20秒間は検知エリア外に離れてお待ちください。
※出荷時は[昼]に設定されています。

6 故障かなと思ったら

現　象	考えられる原因	処　置
ライトが点灯しない （センサーが反応しない）	電池が消耗している。	新品のアルカリ乾電池に交換してください。
	スイッチがOFFになっている。	点灯モード調整ツマミを消灯以外の位置へ切り替えてください。
	電源が正しく供給されていない。	電池を正しく入れてください。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知エリアに対して、検知対象（人など）が横切るような場所へ取り付ける。 またはセンサーの角度を変更する。
	周囲が明るい。 （夜でも周囲に他の照明器具がある）	点灯開始照度を「昼」側に調整する。 他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラーや傘などで覆われている。 夏場など周囲の温度と人体の温度差がすくない。 非常にゆっくりとした速度で検知エリアに侵入している。	設置場所や検知エリア等を調整する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなることがあります。
	検知エリアが遮られている。 ※ガラスや壁、塀越しには人の動きを検知できません。	検知範囲の調整、もしくは取付場所を変更する。 また、マスキングカバーをご使用の際は、ズレや外れがないか取付状況を確認する。
	本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	本体は約2.5mの高さに垂直に設置してください。
ライトが点いてもすぐ消える	本機の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。
	電池が消耗している。	新品のアルカリ乾電池に交換してください。
ライトが点灯したまま消えない (センサーが反応し続ける)	乾電池をセット後のウォームアップ時間中 ※回路を安定動作させるため、乾電池をセット後はライトが約30秒間点灯したままになります。	ウォームアップ時間が終了するまで、検知エリアの外に出て待機してください。
	何らかの物体にセンサーが反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。	完全に検知エリアの外に出る。 マスキングカバーを取り付けて、検知エリアを狭い範囲に調整する。 取付場所を変更する。
人がいないのに点灯する	検知エリア内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある。 （例）他の照明器具の明かり、風で揺れるもの（植木、洗濯物、旗など）、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ 検知エリアが道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している。	誤動作要因となっているものを検知エリア内から取り除く。 検知エリアを狭い範囲に調整する。 取付場所を変更する。
	風や車両の通行等により、センサーライトを取り付けている柱などが振動している。	振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。
昼間なのにライトが点灯する	点灯開始照度の設定ボリュームが「昼」になっている。	点灯開始照度の設定を「夜」側に調整する。
ライトが点滅する （点いたり消えたりを繰り返す）	本機の発光方向に光を反射する障害物がある。 ※反射した光をセンサーが検知して誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除く。
	電池が消耗している。	新品のアルカリ乾電池に交換してください。

仕 様

項目	内容
品 番	ESL-EX301BT
検知方式	赤外線受動式
電 源	DC6V(単二形アルカリ乾電池×4本使用)
電池寿命	約9ヶ月（1日に10回点灯時） ※電池の性能、使用条件により電池寿命は短くなる場合があります。
使用周囲温度範囲	0℃～40℃ ※電池の特性上、周辺温度が低い場合は、電池の性能が十分に発揮されず、電池寿命が短くなる場合があります。
点灯保持時間	約10秒(固定)
点灯開始照度	約5 lx(夜)～(昼)
耐水性能	IPX4(防沫形)
光 源	電球色LED（全光束80 lm）※LEDの交換はできません
質 量	約300g(電池含まず)
付属品	取付ネジ2本、マスキングカバー1個、 コンクリート用スリーブ2個、クランプセット1台

●商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますので、ご了承ください。
●仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
●製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。
それ以外の責はご容赦ください。

外形寸法図

単位：mm